

過去事例を引用した警戒の呼びかけ

平成30年7月豪雨

平成30年（2018年）7月5日～7月8日

大雨、洪水：広島、岡山、鳥取で大雨特別警報

「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組



気象庁 広島地方気象台

Japan Meteorological Agency Hiroshima Local Meteorological Office

平成30年（2018年）7月豪雨（7月5日～7月8日）

～全国1府10県に大雨特別警報を発表した平成30年7月豪雨～

長時間にわたる記録的な大雨により、各地で河川の氾濫による浸水や土砂崩れ等が発生し、特に岡山県、広島県及び愛媛県においては、多数の死者が発生するなど甚大な被害となった。

また、長引く大雨により、西日本の多くの市町村において、避難指示及び避難勧告等が発令され、ピーク時における避難者数が4万人超に達したほか、道路崩壊等による孤立集落や電気・ガス・水道等のライフラインの寸断が発生するなど、住民生活に大きな支障が生じた。

(出典：平成30年防災白書)

また、長引く大雨により、西日本の多くの市町村において、避難指示及び避難勧告等が発令され、ピーク時における避難者数が4万人超に達したほか、道路崩壊等による孤立集落や電気・ガス・水道等のライフラインの寸断が発生するなど、住民生活に大きな支障が生じた。

(出典：平成30年防災白書)

当時の状況とは、まったく同じにならないことに留意

